

南郷小校舎改修落成式典

南郷小学校の校舎と体育館の老朽化に伴い、長寿命化予防改修として、外壁塗装工事を行いました。工事は昨年11月18日(金)に開始し、2月28日(火)に完了。

工事完了に伴い、3月4日(土)には落成式典が行われ、同校児童や地域住民など約230人が来場しました。



塗り替えられた校舎

同校児童らは、「キレイになって嬉しい」、「新しい学校みたいで、前より学校に行くのが楽しみに became した」と喜んでいました。



餅投げの様子

式典では、同校PTAや町内事業所、校区各地区など、さまざまな方の寄付により餅投げも行われました。餅投げの際には児童の保護者などによりドラム缶から作られた打楽器「スティールパン」の演奏も行われ、多くの住民が楽しみました。

小川地区の子どもたちがキジ放鳥

2月18日(土)、小川地区でキジの放鳥が行われました。同取組は、高知県猟友会が主催し、現在減少している国鳥であるキジを増やし、また、子どもたちにもキジを知ってもらい関心を持ってもらうことを目的に行われました。



キジ放鳥の様子

今回放鳥したのは、生後約220日のキジ20羽。小川地区子ども会の児童や関係者ら約20人で行いました。

参加した南郷小学校5年生の植田めいさんは、「キジを押さえるのが難しかった。自由に生活して元気でいてほしい」と話しました。

また、高知県猟友会の高橋徹会長は、「今回放ったキジが今後どう増えていくのかを研究していく予定。キジが増えることで、のどかなまちづくりにつながれば」と話しました。

三浦小デザイン授業

1月27日(金)、三浦小学校3・4年生計13名を対象に、「デザイン思考力育成のための研究授業」が行われました。

同授業では、デザイナーの梅原真さんを招き、「おみせのデザイン」をテーマに、カフェやパン屋の名前、外観、看板商品などを考えました。



デザインした店を紹介する児童

児童らは、「キャットカフェ」や「クマ組パン屋」など、思い思いの店をデザインしていました。

同小3年生の井上蒼介さんは、「最初は何を描いたら良いかわからなかったけど、最後には良いお店が作れて良かった」と話し、4年生の野村春羽さんは、「良いお店が作れたし、デザイナーはみんなを笑顔にする仕事だということがわかった。いつかデザインの仕事もやってみたい」と話しました。



店をデザインする児童ら

ゴルフ合宿プロ・アマ選手7名が町長を表敬訪問

2月18日(土)から2月24日(金)までの7日間、土佐ユートピアカントリークラブでプロゴルフツアーによる合宿が行われ、宮崎乙実プロほか、6名のアマチュア選手が来庁し、松本敏郎町長を表敬訪問しました。

宮崎プロは、「苦手な分野の練習ができてありがたい。今回の合宿で克服して帰りたい」と話しました。



左から中井愛美選手、堀内明莉選手、高山佳小里選手、松本町長、宮崎乙実プロ、長嶺葉子選手、熊倉莉子選手、大嶋さらさ選手

また、2月23日(木)には、土佐ユートピアカントリークラブ主催で宮崎プロらがゴルフを教えるチャリティゴルフコンペも行われ、2月19日(日)地区合同コンペで行われた高知銀行主催の西部集まった協力金とともに、3月16日(木)に町に寄附されました。



左から青木幹人統括店長、松本町長、田中里美副支配人